

特定非営利活動法人 日本臨床歯周病学会  
認定歯科衛生士試験 症例発表

# 「広汎型慢性歯周炎の一症例」

プレゼンテーションの一例（抜粋）

〇〇年〇〇月〇〇日

受付番号\_\_\_\_\_

〇〇支部 準会員

△△歯科医院

氏 名

患者イニシャル

性別

主訴

現病歴（全身的、歯科的）

既往歴（全身的、歯科的）

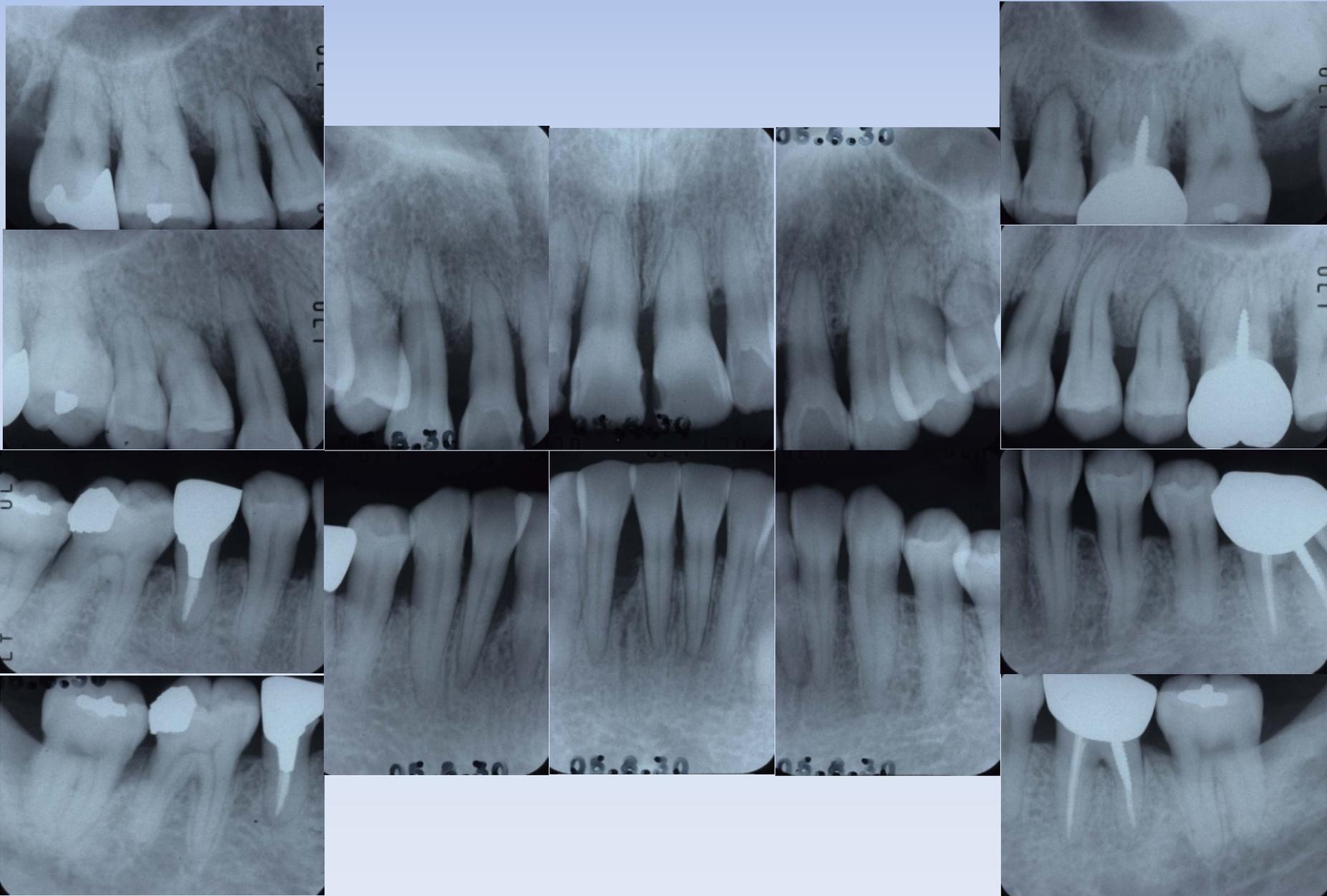
現症

その他、発表を行う上で報告すべき事項

# 初診時の口腔内写真（2005年8月30日）



# 初診時のレントゲン写真 (2005年8月30日)





## 治 療 経 過

歯科衛生士として何に苦慮し、工夫したか等、

面接官にアピールする重要な部分である。

アピールする部分を写真やレントゲンを

使用しても差し支えない。また、必要に応じて

複数ページ使用すること。資料を添付する

場合は、日時や簡単なコメントを記載することを

心がけること。

メンテナンス移行時  
口腔内写真（〇〇年〇月〇日）



# メンテナンス移行時での注意点

**口腔内写真**

**レントゲン写真（10もしくは14枚法）**

（メンテナンス時に提示でも可）

パノラマ写真でも可

**歯周組織検査**

**上記3項目に対し、日時、簡単な説明をつけること**

メンテナンス時  
4年経過時の口腔内写真（2009年5月7日）



## メンテナンス時での注意点

- 歯周炎が治癒していること。
- 口腔内写真やレントゲン上で炎症所見やプラーク、歯石の残存を認めないこと。
- 口腔内写真やレントゲン写真は鮮明であること。
- メンテナンスの概要を歯科衛生士の立場で記載すること。

## ま と め

- 起承転結がしっかりしていること。
- 箇条書きですっきりとまとめること。
- 面接官に訴えたいテーマをしっかりと示すこと。
- プレゼンテーション 15分 口頭試問 5分 で行う。
- 発表時間は厳守する。
- スライド枚数は、概ね15枚程度である。
- 事前に発表の練習をしておくこと。